

施設名	宮崎県建設技術センター
指定管理者	学校法人 宮崎総合学院
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 管理課

1 施設利用状況

指標	H29	H28	H27	増減理由等
施設利用者数(単位:人)	14,133	13,558	16,746	研修受講者が増えたことにより、施設利用者数が増加している。
利用団体数(単位:団体)	496	529	647	
青年隊入隊員数(単位:人)	61	41	46	
コメント	県の管理規則等に基づき適切な施設利用が行われている。 今後とも、効果的な施設のPRや青年隊募集活動を継続していく必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H29	H28	H27	支出	H29	H28	H27
指定管理料	96,200	96,200	96,200	人件費	48,839	48,773	46,508
その他雑収入	1	1	3	光熱水費	10,843	8,460	10,631
自主事業収入	446	377	448	委託料等	12,240	12,151	11,972
				舎監費	2,588	2,633	2,649
				車両維持費	381	600	416
				施設修繕費	2,635	3,321	2,463
				隊員保険費	1,026	687	827
				公課費(消費税)	4,431	4,495	4,375
				自主事業経費	446	377	448
				その他	13,882	15,040	16,330
合計(①)	96,647	96,578	96,651	合計(②)	97,311	96,537	96,619
収支差額(①-②)	-664	41	32				
コメント	効果的・効率的な事業運営をし、経費削減の努力もあり、収支も安定し適正に執行されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、29年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃・定期清掃(週5回随時)、特別清掃(研修宿泊前後)
	給食	食堂の運営
	保守・点検	消防用設備(年2回総合点検・機器点検)、電気工作物(点検月1回)、 <u>デマンド監視装置の設置</u> 浄化槽設備(点検年36回・清掃年2回)、空調設備(点検年2回)、プール濾過(年1回)、ボイラー設備(点検年2回)
	警備	常駐警備(職員不在時に委託警備)・機械警備(センターが無人となる場合)、警備業務実施要領整備
	修繕	備品・設備点検(随時)、修繕計画策定
	備品等管理	備品台帳点検(随時)、備品管理台帳整備
	安全対策	安全管理点検、救急用品整備、危機管理マニュアル整備、避難訓練(年2回・AED操作訓練1回含む)
その他	樹木剪定・除草(年3回)、環境整備(随時)、防鼠駆除(年6回)、害虫駆除(年4回)	
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査(随時)、接遇研修(年1回)
	イベント等ソフト面充実	自主事業(研修・講座・交流イベント)の実施(年3回)
	施設設備等ハード面充実	教材備品の整備
	その他	隊員募集活動(オープンキャンパス、学校訪問、重点校の指定)及び進学・就職指導
管理運営体制	情報公開、個人情報取扱の遵守	
コメント	施設の修繕や利用者の要望に速やかに対応できており、利用者満足度調査による評価も高い。また、青年隊の募集活動も年間計画に基づき、年度当初から積極的に行っている。今後も建設業界のニーズや動向を踏まえた行事や自主事業等の企画運営の展開を期待する。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(4月～3月にかけて施設を利用した団体対象)	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
利用者にアンケート提出を依頼しているが、職員の対応等に対する苦情はなし。	-	

5 総合評価

評価コメント	必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき適正な管理運営が行われている。また、61名と大幅に増加した入隊者に対応するため、教務指導体制の充実を図るとともに、引き続き、学校や関係機関への随時訪問やオープンキャンパスの開催、国の制度を活用した青年隊員募集活動を行っており評価できる。
今後の課題と対応	建設技術者の育成・確保を図るため、効果的な青年隊のPRとあわせて、教育カリキュラムの充実など、より一層魅力ある青年隊教育に向けた取り組みが求められる。